

千代田中学校だより

自ら一步前へ

平成31年1月17日

第26号

校長 山田正彦

一人ひとりが輝き

笑顔と感動があふれる学校

## 夢や目標を「志」に

先日の日曜日に北広島町では成人式が行われました。その様子については、14日の中国新聞にも掲載されていました

だったので、君たちの中にはその記事を読んだ人もいないのでしょうか。新聞記事によると、131名の新成人の方が出席をされ、新成人を代表して、植田さんが「この町が古里であるという自覚と誇りを持ちたい。」という主旨の謝辞を述べられたと書かれていました。大学生ということで、今はこの千代田の地を離れ生活をされているのでしょうか。改めて、古里の良さに気付いたり、古里が自分に与えてくれたたくさんの宝物（学び・経験や仲間等）に感謝したりされているのではと、その記事を読みながら私は感じ取ることができました。君たちも、「成人の日」をやがて迎えますが、どんな思いでその日を迎えるのでしょうか。

さて、「成人式」という人生の節目を迎える前に、もう一つ違った式を行っておられる自治体や学校があります。それは「立志式」という式です。隣の安芸太田町も平成21年から継続的に行われているようです。立志式とは、昔の大人の仲間入りをする儀式であった「元服」や「髪上げの儀」に由来しているとも言われています。時代によってその年齢は多少前後していたようですが、おおむね満15歳を迎えるときに行われていたそうです。そのため、今では中学校2年生の生徒を対象に、その式が行われています。式の目的は、「3年生への進級を控えたこの時期、自分の進路や生き方について考え、その思いをお互い交流し学び合う機会とする。」です。自分の将来の目標やそれを成し遂げようとする意志を一人ひとりがより強くするために、同級生や保護者・地域の方等に自分の決意を發表します。仲間の思いを聞くことで「志」を立て、前向きに自分の将来を設計していく力を培うことができるようです。本校では、残念ながらそのような式は行ってはいないのですが、学活や総合の時間等で中学校卒業後の進路を考えることは行っています。卒業後の進路を考えるということは、もう少し先の人生(将来の夢や目標)についても考えるはずで、それを叶えるのは自分自身の生き方に関わってきます。夢や目標を「志」に高めていけるよう、いろいろな活動を通してお互いが磨き合っていける、学級・学年そして学校を一緒につくっていきましょう。



### 【プチ・ニュース】

成人年齢を現行の20歳から18歳に引き下げる改正民法が昨年6月の参院本会議で可決され成立しました。2022年4月1日に施行され、成人の定義が1876（明治9）年の太政官布告で「20歳」と定められて以来約140年ぶりになるとのことです。成人年齢が引き下げられたことで、法的な扱いが変わることや変わらないことがあるようです。携帯電話やクレジットカードの契約等が自分ひとりでもできるようになったり、選挙もできるようになります。法的な扱いが変わるといことは、それに伴う「責任」も付いてくるということですね。

※「飲酒・喫煙・ギャンブル等、20歳以上にならないとダメ」というように、成人年齢が引き下げられても変わらないものもあります。